

甲元眞之教授 略歴ならびに業績目録

■略歴

- 1944年 5月 広島県三次市に生まれる
 1960年 4月 広島県日彰館高等学校入学
 1963年 3月 同 上 卒業
 1963年 4月 東京教育大学文学部入学
 1967年 3月 同 上 卒業
 1967年 4月 東京大学大学院人文科学研究科修士課程入学
 1969年 3月 同 上 修了
 1969年 4月 東京大学大学院人文科学研究科博士課程入学
 1972年 3月 同 上 単位取得退学
 1972年 4月 財団法人古代学協会研究員・同付設平安博物館助手
 1974年10月 財団法人古代学協会付設平安博物館講師
 1977年 4月 熊本大学法文学部助教授
 1979年 4月 熊本大学文学部助教授
 1994年 4月 熊本大学文学部教授
 1994年 5月 熊本大学埋蔵文化財調査室室長（2005年7月まで）
 1998年 7月 九州考古学会・嶺南考古学会合同学会実行委員長
 1998年 9月 第11回濱田青陵賞受賞（受賞業績：東アジア新石器時代社会研究の革新）
 2001年12月 文学博士（東京大学）
 2007年10月 日本考古学協会2007年度熊本大会実行委員長
 2009年 4月 熊本大学文学部附属永青文庫研究センター長（現在に至る）
 2009年11月 日本植生史学会・九州古代種子研究会合同学会実行委員長
 2010年 3月 熊本大学を停年退職

1976年より現在までに、愛媛大学法文学部、大阪大学文学部・大学院文学研究科、大谷大学文学部、岡山大学文学部・大学院文学研究科、鹿児島大学法文学部・大学院文学研究科、九州大学文学部・大学院文学研究科、熊本大学教養部、島根大学法文学部・大学院文学研究科、筑波大学歴史人類系・大学院文化人類学、東北大学文学部・大学院文学研究科、徳島大学総合科学部、富山大学人文学部・大学院文学研究科、名古屋大学文学部・大学院文学研究科、広島大学文学部・大学院文学研究科、福岡大学大学院文学研究科、放送大学、山口大学人文学部の非常勤講師、国立歴史民俗博物館の客員教員、九州大学文学部付設九州文化史研究施設、国立民族学博物館、国立歴史民俗博物館、中国社会科学院考古研究所古代文明研究センターの共同研究員、九州古代種子研究会の会長を歴任（機関等の名称は50音順）。

■業績目録

著書（単著）

- 『中国新石器時代の生業と文化』中国書店、p.401、2001年
『日本の初期農耕文化と社会』同成社、p.349、2004年
『東北アジアの青銅器文化と社会』同成社、p.298、2006年
『東北アジアの初期農耕文化と社会』同成社、p.473、2008年
『東アジアの先史学・考古学論究』慶友社、p.467、2009年
『青驪』壺～終、シモダ印刷、2004～2010年

著書（共著）

- 『平安京古瓦図録』雄山閣、1977年
『論集・日本民族の起源』大和書房、1978年
『古代学論集』古代学協会、1979年
『東洋史・考古学論文集』三上次男博士頌記念論集編集委員会、1979年
『山陽の古代遺跡』三一書房、1980年
『古文化論攻』鏡山猛先生記念論文編集委員会、1980年
Megalithic Cultures in Asia. Han Yan University, 1982.
『古文化論集』森貞次郎博士古稀記念論集編集委員会、1982年
『弥生時代の知識』東京美術、1984年
『日本史の黎明』六興出版、1985年
『日本民俗社会の形成と発展』山川出版社、1986年
『岩波講座日本考古学』第4巻、岩波書店、1986年
『岩波講座日本の社会史』第1巻、岩波書店、1987年
『東アジアと日本』吉川弘文館、1987年
『日本民族・文化の生成』永井先生退官記念論集編集委員会、1988年
『東北アジアの考古学』六興出版、1990年
『九州上代文化論集』乙益先生古稀記念論文編集委員会、1990年
『日本における初期弥生文化の成立』文献出版社、1991年
『弥生文化の成立と東アジア』学生社、1993年
『考古論集』潮見先生退官記念考古論集編集委員会、1993年
『日本と世界の考古学』雄山閣、1994年
『文明学原論』山川出版社、1995年
『西谷眞治先生古稀記念論文集』勉誠社、1995年
『東アジアの文化構造』九州大学出版会、1997年
『宗教と考古学』勉誠社、1997年
『古代史の論点』第1巻、小学館、2000年
『琉球・東アジアの人と文化』下巻、高宮廣衛先生古稀記念論集刊行会、2000年
『縄文人・弥生人は何を食べたか』雄山閣、2000年

- 『考古学の学際的研究』昭和堂、2001年
 『東アジアと日本の考古学』IV、同成社、2002年
 『文化の多様性と比較考古学』考古学研究会、2004年
 『上天草いにしへの暮らしと古墳』上天草市、2007年
 『現代社会の考古学』朝倉書店、2007年
 『生業から見る日本史』吉川弘文館、2008年
 『東アジアの文化構造と日本的展開』北九州中国書店、2008年

著書（編著）

- 『環東中国海沿岸地域の先史文化』1～5、熊本大学、1998～2001年
 『先史・古代東アジアの植物遺存体』1～2、熊本大学、2003～2004年
 『砂丘形成と寒冷化現象』熊本大学、2007年
 『東北アジアの環境変化と生業システム』熊本大学、2007年

著書（共編著）

- 『考古学の世界』第5巻、ぎょうせい出版社、1993年
 『蒼海を駆る』熊本大学考古学研究室、1996年
 『日本史大辞典』小学館、2001～2002年

論文（単著）

- 「朝鮮半島の有茎式磨製石剣」『古代文化』第24巻第7号、pp.193-200、1972年
 「朝鮮半島の有柄式磨製石剣」『古代文化』第24巻第9号、pp.253-256、1972年
 「朝鮮支石墓の編年」『朝鮮学報』第66輯、pp.1-36、1973年
 「東北アジアの磨製石剣」『古代文化』第25巻第4号、pp.140-149、1973年
 「朝鮮の初期農耕文化」『考古学研究』第20巻第1号、pp.71-89、1973年
 「弥生時代の社会」『古代史発掘』第4巻、講談社、pp.87-98、1975年
 「西北九州支石墓の一考察」『熊本大学法文学部論叢』第41号、pp.124-151、1978年
 「弥生社会復元の試み」『弥生文化の研究』第9巻、雄山閣、pp.18-25、1986年
 「弥生と縄文」『朝日百科・日本の歴史』第39号、朝日新聞社、pp.179-183、1987年
 「播種と収穫」『弥生文化の研究』第2巻、雄山閣、pp.62-68、1988年
 「西周初期燕の埋納遺跡」『百済研究』第19号、pp.277-295、1988年
 「東北アジアの石製農具」『古代文化』第41巻第4号、pp.1-23、1989年
 「遼西地方における青銅器文化の形成」『国立歴史民俗博物館研究報告』第35集、pp.463-479、1991年
 「長江と黄河——中国初期農耕文化の比較研究」『国立歴史民俗博物館研究報告』第40集、pp.1-120、1992年
 「東北アジアの先史時代漁撈」『熊本大学文学部論叢』第45集、pp.135-158、1994年
 「東北亞的の石製農具」『農業考古』1期、pp.235-246、1994年
 「中国史前時代的漁撈」『東南文化』4期、pp.13-20、1996年

- 「黄・渤海周囲地区的史前時期漁撈」『環渤海考古國際學術討論會論文集』知識出版社、pp.102-105、1996年
- 「中国先史時代の集落と墓地」『東アジアにおける社会・文化構造の異化過程に関する研究』熊本大学、pp.43-56、1996年
- 「朝鮮半島の支石墓」『東アジアにおける支石墓の総合的研究』九州大学、pp.25-51、1997年
- 「東北亜先史時代的漁業」『歴史与考古信息』1期、pp.1-10、1997年
- 「朝鮮先史時代の漁撈文化」『古文化談叢』第39集、pp.219-246、1997年
- 「船に乗る馬」『熊本大学文学部論叢』第61集、pp.163-185、1998年
- 「環東中国海先史漁撈文化」『熊本大学文学部論叢』第65集、pp.133-165、1999年
- Prehistoric Subsistence Economy in Northeast Asia. *Russia and China*. No.1, Blagobechensk, pp.14-19, 2001.
- Extension of East Asian Megalithic Culture. *Meeting on Megalithic Culture*. The Cultural Heritage Protection Cooperation Office, Asia/Pacific Cultural Center for UNESCO. pp.5-15, 2003.
- Die Verbreitung des Reisanbaus Schweine Reisfelder die dorfliche Gemeinschaft. *Zeit der Morgenrote*. pp.188-191, 2004.
- 「東アジアにおける農耕の起源と拡散」『国立歴史民俗博物館研究報告』119集、pp.11-30、2004年
- 「砂丘の形成と考古学資料」『熊本大学文学部論叢』第86集、pp.55-77、2005年
- 「東アジアの青銅器」『日本列島における祭祀の淵源を求めて』國學院大学、pp.47-57、2005年
- 「殷周青銅器文化の拡大」『古代東アジアの青銅器文化と社会』国立歴史民俗博物館、pp.66-75、2006年
- 「山東の周代諸国」『東方はるかなユートピア』山口県立萩美術館、pp.81-84、2006年
- 「気候変動と考古学」『熊本大学文学部論叢』第97集、pp.1-52、2008年

調査報告書（共著）

- 『仲町遺跡』川崎市教育委員会、1971年
- 『下条・灰塚』更埴市教育委員会、1971年
- 『下関市綾羅木郷遺跡調査概報』第9集、下関市教育委員会、1971年
- 『常呂』東京大学文学部、1972年
- 『少将井遺跡発掘調査報告』平安博物館、1972年
- 『貝の花貝塚』東京教育大学文学部、1973年
- 『山口県下関市新下関駅周辺遺跡調査概報』下関市教育委員会、1973年
- 「平安京六角堂址の発掘調査」『華道』第37巻第3～6号、1973年
- 『門田2号墳』福岡県教育委員会、1976年
- 「平安京左兵衛町跡の発掘調査」『古代文化』第28巻第7号、1976年
- 「平安宮小安殿跡の発掘調査」『京都市埋蔵文化財年次報告』京都市観光局、1976年
- 『平安京六角堂の発掘調査』古代学協会、1977年
- 『東洞院大路・曇華院』平安博物館、1977年
- 『秋根遺跡』下関市教育委員会、1977年

- 『長門国府跡』 下関市教育委員会、1978年
- 「平安宮中和院跡の立会い調査」『古代文化』第30巻第5号、1978年
- 『石貫ナギノ・石貫穴観音横穴群』 金曜会、1980年
- 『平原瓦窯址』 熊本県教育委員会、1980年
- 『綾羅木郷遺跡』 下関市教育委員会、1981年
- Batan Islands and Northern Luzon.* The University of Kumamoto. 1983.
- 「西諸県郡須木村上床遺跡の調査」『宮崎考古』第9号、1984年
- 『吉母浜遺跡』 下関市教育委員会、1985年
- 『宇土半島古墳群分布調査報告』 1・2、三角町教育委員会、1985-86年
- 『高畑赤立遺跡発掘調査報告』 蘇陽町教育委員会、1988年
- 『宮崎石棺墓群』 倉岳町教育委員会、1990年
- 『今高塚遺跡発掘調査報告書』 蘇陽町教育委員会、1990年
- 『熊本大学文学部考古学研究室研究報告』 第1集、1994年
- 『蘇陽町誌資料編』 蘇陽町誌編纂委員会、1996年
- 『椿原古墳』 宇土市教育委員会、1997年
- 「大久保貝塚」『考古学研究室報告』 第37集、2002年
- 『種子島広田遺跡』 鹿児島県歴史資料センター黎明館、2003年
- Krounovka 1.* Kumamoto University, 2004.
- Zaisanovka 7.* kumamoto University, 2005.
- Klerk 5.* Kumamoto University, 2006.
- 「上天草市所在遺跡採集資料報告」『考古学研究室報告』 第41集、2006年
- 「上天草市所在遺跡採集資料報告2」『考古学研究室報告』 第42集、2007年